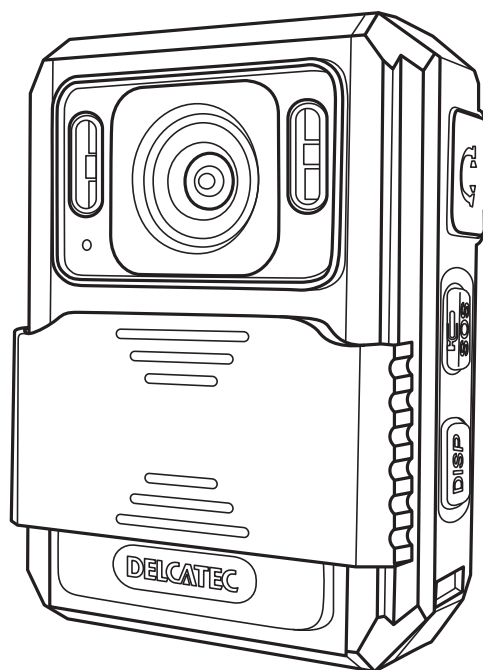


どこでもウォッチカメラ CNE3CUL1 設定ガイド



本書は、CNE3CUL1 に付属の取扱説明書と合わせてご使用ください。

- ・ この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに

2

録画時間の目安	4
使用上のお願い	4
録画について	4
使用上のご注意	4
防水性能について	5
LTE (4G) 通信	5
商標等について	5
本書について	6
無線 LAN 通信利用時のご注意	7
無線 LAN 通信 (2.4GHz 帯) /	
Bluetooth® 機能を利用する場合のお願い	7
無線 LAN 通信 (5GHz 帯) を利用する場合のお願い	7
無線 LAN 通信について	8

準備

9

各部の名称と働き	10
電源の準備	12
バッテリーを充電する	12
充電にかかる時間	12
電源の入れかた、切りかた	13
バッテリーの表示	13
連続使用時間	13
準備	14
マウントアタッチメントを取付ける	14

運用・設定

15

起動と電源 OFF	16
起動	16
電源 OFF	16
パスワード入力方法	17

操作禁止の設定方法	18
SOS 機能について	18
ネットワーク設定手順	19
どこでもウォッチ設定ツールの	
インストール及び起動	19
LTE (4G) 通信の設定方法	21
SIM カードの取付方法	21
どこでもウォッチ設定ツールによる設定	22
本製品の設定	23
無線 LAN 通信 (AP モード) の設定方法	24
SIM カードの取付方法	24
どこでもウォッチ設定ツールによる設定	24
本製品の設定	25
無線 LAN アクセスポイントとしての利用	25
無線 LAN 通信 (ST モード) の設定方法	26
どこでもウォッチ設定ツールによる設定	26
本製品の設定	27
antenna-eye 接続手順	28
どこでもウォッチ設定ツールを用いた	
antenna-eye 登録方法	29
画面の主なアイコン・表示	31
ライブ映像画面の表示	31
設定	32
メニュー画面の表示方法	32
メニュー画面の使い方	32
メニュー画面からライブ映像画面への戻り方	33
メニュー	34
メニューの内容	34
メニューの設定	35
録画・写真の撮影・録音	42
録画	42
写真撮影	42
録音	42

メモリ容量警告	43
記録されたデータの再生	44
ファイル選択画面の表示方法	44
ファイルの選択	44
映像ファイルの再生	45
静止画ファイルの表示	45
音声ファイルの再生	46
ファイルの削除	46
内蔵メモリのファイル消去方法	47
専用アプリ antenna-eye との通話機能	48

その他 49

故障と判断する前に	50
-----------------	----

録画時間の目安

内蔵メモリに録画できる録画時間の目安は、使用環境によって異なります。

録画解像度	録画時間
1920 × 1080 30P	約 8 時間
1280 × 720 30P	約 16 時間
864 × 480 30P	約 22 時間

※画質を低（Normal）に設定した場合

※ビデオコーデック H.264 で録画した場合

※ビデオコーデック H.265 で録画すると H.264 よりも録画時間を長くすることが可能です。

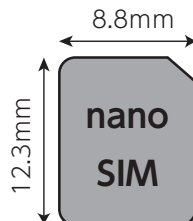
使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- ・本製品のパスワードを他人に見られたり、教えたりしないでください。
- ・第三者が本製品の設置・設定を行った場合は、必ず本製品のパスワードを変更してください。
- ・修理依頼する場合は、本製品のパスワードを初期化してください。
- ・本製品の SIM カードは、nanoSIM カードを採用しています。



- ・本製品は以下のときに、本体内部をリフレッシュする目的で自動的に再起動をする場合があります。再起動中は、録画が約 2 分間途切れてしまいます。
 - ・ネットワーク環境や通信環境が悪いとき。
（実際の通信速度は、WiFi 環境、SIM サービスの契約内容や通信環境、ネットワークの混雑状況によって異なります。）
- ※ネットワーク環境や通信環境が悪いことをお知らせするメッセージが表示される場合とされない場合があります。
- 以下のことで改善する場合があります。
 - ・ネットワーク環境や通信環境の良い場所に設置してください。
 - ・フレームレートや解像度を低くしてください。
 - ・ご契約の SIM サービスの契約内容を確認して、データ容量が不足している場合は、余裕のある SIM サービスの契約内容へ変更してください。
- ・本製品は以下のときに「antenna-eye」に録画されていない場合がありますので、「antenna-eye」のライブビューで、カメラ映像が表示されていることを確認してください。
 - ・ネットワーク環境や通信環境が悪いことをお知らせするメッセージが表示されたとき
 - ・ネットワーク環境や通信環境が悪く本製品が再起動したとき
- ※本製品が再起動したときは、ネットワーク環境や通信環境が改善していると、約 30 秒後に「antenna-eye」に録画が開始されます。

- ・本製品は、ネットワーク環境や通信環境が悪いときに、「antenna-eye」に録画されません。録画されていないデータは、内蔵メモリ（2GB 分）に保存されます。

- ①パソコン（Windows）と本製品を付属の USB ケーブルで接続します。
- ②パスワードを入力します（⇒ 17 ページ）。
- ③「cloudRec」のフォルダから「backup」のフォルダを開きます。
- ④確認したいファイルをダブルクリックすると、録画データを再生します。

 ファイルは上書き保存されます。



- ・ nanoSIM カードの推奨データ容量について
 - ・ クラウド録画サービス「antenna-eye」を LTE(4G) 回線で使用するときに、1 日連続使用で約 11GB を使用します。
 - ・ 使用状況によっては、上り大容量プランの SIM を使用することをお勧めします。
- ・ 弊社では不正利用された場合の責任は負いません。
- ・ 弊社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどの使用により生じた損害に関しては、弊社では責任を負いません。
- ・ 本製品がお手元でない場所から問い合わせの時、本製品の接続や現象などの目視確認が必要な内容についてはお答えできません。

防水性能について

- ・ カメラ本体には、JIS 保護等級 IP67 相当の防塵・防水性能がありますが、水中では使用しないでください。

LTE（4G）通信

本製品が対応している回線については、弊社製品情報または D サポ！をご確認ください。

- ・ 製品情報
本製品の詳細情報については、下記の WEB サイトをご覧ください。
<https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?id=2697>
- ・ D サポ
製品に関するお困りごとを解決します。
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=3017

商標等について

- ・ antenna-eye はエレコム株式会社の商標です。
- ・ Android は、Google LLC の商標です。
- ・ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・ Bluetooth は、Bluetooth Special Interest Group（SIG）の登録商標です。
- ・ USB Type-C は USB Implementers Forum の登録商標です。
- ・ Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・ 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお

お客様の個人的かつ非商業目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(1) AVC 規格準拠のビデオ（以下、「AVC ビデオ」という。）を記録すること。

(2) 個人的かつ非商業的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者によって記録された AVC ビデオを再生すること。

AVC/H.264 に関する契約における表示義務は下記のとおりです。

Notice Required for the License Granted under Articles 2.1 and 2.6. As a condition to the licenses granted pursuant to Articles 2.1 and 2.6 hereof, Licensee agrees to provide to any party that receives from Licensee an AVC Royalty Product the following notice: THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO, NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE, ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

- その他記載されている会社名および商品名は、社の商標または登録商標です。
- このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は一部を除き省略させていただきました。



本書について

- 本書に掲載されているイラスト、図、説明文は、実際の製品の外観や機能と異なる場合があります。
- 内容の正確性を期するように努めておりますが、技術的な誤り誤植がある場合があります。弊社ではそのような誤りに責任は負いません。
- 不適切な操作によって生じる破損や損害は、弊社では責任を負えません。
- ご使用になるスマートフォン、タブレットまたはパソコンによって、表示内容または画面デザインなどは異なる場合があります。
- このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。

無線 LAN 通信利用時のご注意

無線 LAN 通信(2.4GHz 帯)/Bluetooth® 機能を利用する場合のお願い

使用周波数帯

- 無線 LAN 通信を ST モード※¹ で使用し 2.4GHz 帯の電波で無線 LAN ルーター等に接続する場合、無線 LAN 通信で AP モード※² を使用する場合は、および Bluetooth® を使用する場合は、2.4GHz 帯の周波数を使用します。ほかの無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

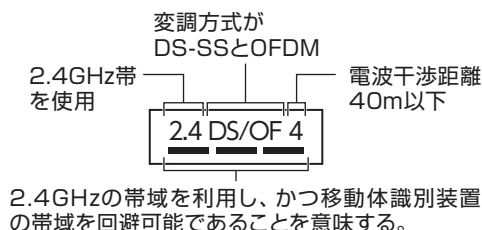
※1：ST モードとは、Station モードの略で無線 LAN を経由し、遠隔地からカメラを接続するモードです。初回接続時には、2.4GHz 帯の無線 LAN ルーターへ登録してください。

※2：AP モードとは、Access Point モードの略で、本製品がアクセスポイントとして機能し、スマートフォンなどの端末を無線接続して通信できるようにするモードです。

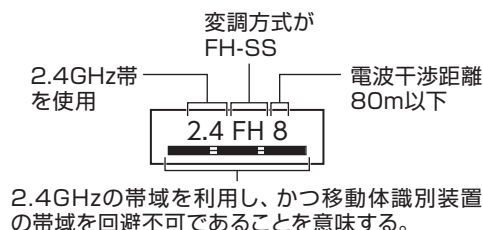
無線電波についてのご注意

- 本製品の周波数帯は、医療機器・電子レンジなどの産業・科学機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話、その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器（無線 LAN、Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機器など）の近くで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
- 本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を停止してください。
- 本製品の Bluetooth® 機能は、すべての Bluetooth® 製品との無線通信を保証するものではありません。

【無線 LAN の周波数表示の見かた】



【Bluetooth® の周波数表示の見かた】



無線 LAN 通信(5GHz 帯)を利用する場合のお願い

使用周波数帯

- 無線 LAN 通信を ST モードで使用し 5GHz 帯の電波で無線 LAN ルーターなどに接続する場合は、5GHz 帯の周波数を使用します。電波法により使用場所の制限などが生じるため、下記の事項に注意してご使用ください。

無線電波についてのご注意

- 本製品は、屋外で 5GHz 帯の無線 LAN 通信を利用することができません。屋外で無線 LAN 通信を利用する場合には、2.4GHz 帯をご利用ください。

【無線 LAN の通信性能表示の見かた】

IEEE 802.11b/g/n	←2.4GHz 帯で、IEEE 802.11b/g/n が利用可。			
IEEE 802.11a/n/ac	←5GHz 帯の W52、W53、W56 のチャネルを用いて IEEE 802.11a/n/ac が利用可能。 ※本製品を 5GHz 帯で接続する場合、任意のチャネルを選択することはできません。			
J52 W52 W53 W56				

無線 LAN 通信について

はじめに

準備

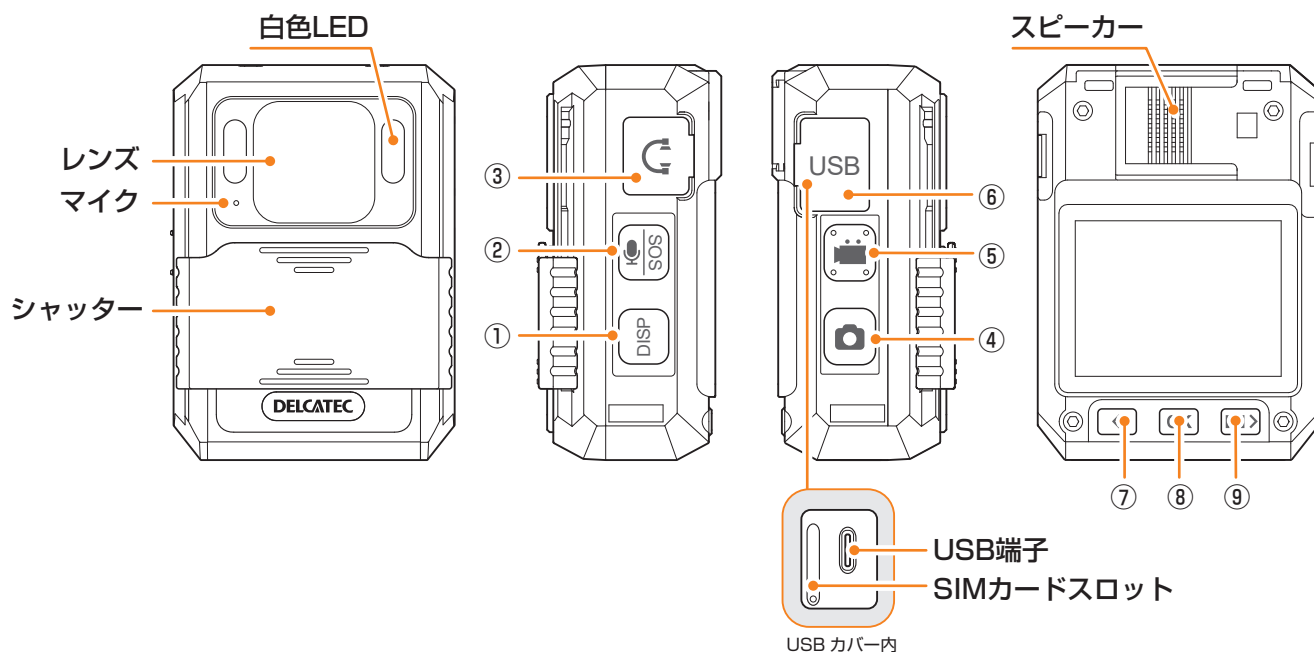
運用・設定

その他

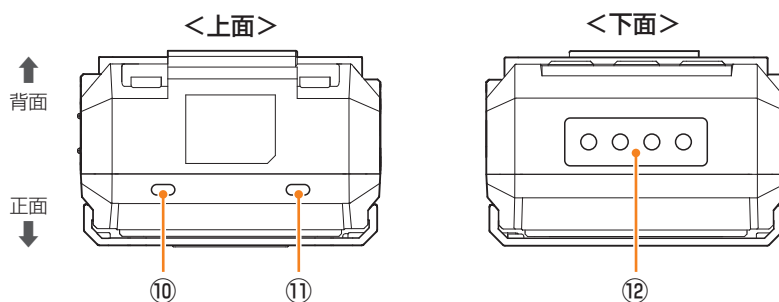
- 本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造することは電波法で禁止されています。
また、本製品の工事設計認証番号は、下記の操作で画面に表示させることができます。
【メニュー画面＞機器情報】
- 不明点やその他お困りのときは、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定（パスワード変更など）を行ってください。
- 無線 LAN ルーターなどのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。
無線 LAN ルーターなどのセキュリティー設定により発生した障害に関しては、弊社では責任を負いません。
また、無線 LAN ルーターなどの設定・使用方法などに関する問い合わせには、弊社ではお答えできません。
- 弊社では、ネットワークセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください。

準備

各部の名称と働き



	項目		内容	長押し
①	表示切換ボタン		画面表示の ON/OFF ができます。 (メニュー画面表示中) メニュー画面を終了します。	電源の ON/OFF ができます。
②	録音ボタン		音声の録音ができます。	SOS (白色 LED が点滅し警報音が鳴る機能) の ON/OFF ができます。
③	イヤホンジャックカバー		カバーを外すと有線イヤホンを接続できます。	—
④	写真ボタン		静止画を撮影できます。	夜間モードの ON/OFF ができます (メニューで「夜間モード切替」を手動にしているとき)
⑤	録画ボタン		動画を録画できます。 録画リスト / 静止画リスト / 録音リストを表示中に、各リストに切り換えます。	録画中または録音中に操作禁止の ON/OFF を切り換えます。
⑥	USB カバー		カバーを外すと USB Type-C ジャックと SIM カードスロットを使用できます。	—
⑦	選択ボタン		項目の選択ができます。	映像ファイルの再生時または静止画ファイルの表示時に、拡大した画面を縮小 (ズームアウト) できます。また、ライブ映像画面では Bluetooth の ON/OFF ができます。
⑧	決定ボタン		録画リストを開く操作および項目の決定ができます。	白色 LED の ON/OFF ができます。 (メニューで「ライト」を ON にしているとき)
⑨	メニューボタン		メニューを開く操作およびメニュー項目の選択ができます。 メニューボタンを押した後に、パスワード*入力が要求される場合があります。 ※初期パスワードは 000000 です。(メニューに入った後、変更してください。)	映像ファイルの再生時または静止画ファイルの表示時に、画面を拡大 (ズームイン) できます。



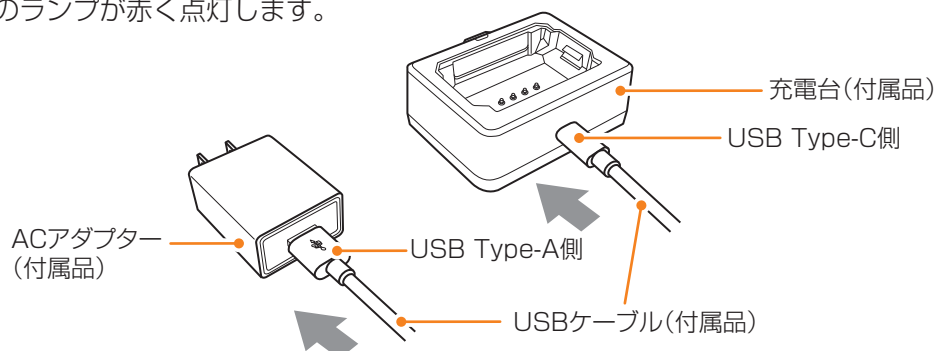
	名 称	機 能
⑩	状態ランプ	状態ランプが点灯 / 点滅していないときは電源が OFF の状態です。 ※ステータスライトが「オフ」に設定されているときは、状態ランプは点灯しません。
⑪	充電ランプ	充電中は赤、充電が完了すると緑に点灯します。
⑫	充電コネクタ	充電台から電源を供給するためのコネクタです。 汚れている場合は、綿棒などでふき取ってください。

電源の準備

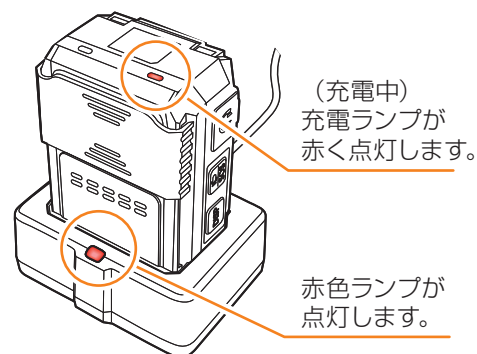
バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーを十分に充電してからお使いください。
付属の充電台、USB ケーブル、AC アダプターを使用して充電してください。

- 1 充電台と AC アダプターを USB ケーブルで繋ぎ、電源コンセントに接続します。
充電台のランプが赤く点灯します。



- 2 本製品を充電台に挿し込みます
充電台はランプがある方が正面になります。
本製品の充電ランプが赤く点灯します。
※シャッターを下げた状態でも充電できます。
※充電台の端子部分が汚れていると、充電ができません。
綿棒などでふき取ってください。
※ USB Type-C ジャックとパソコンを接続したまま、本製品を充電台に差し込まないでください。



- 3 本製品の充電ランプが緑色に変わったら充電終了です

充電にかかる時間

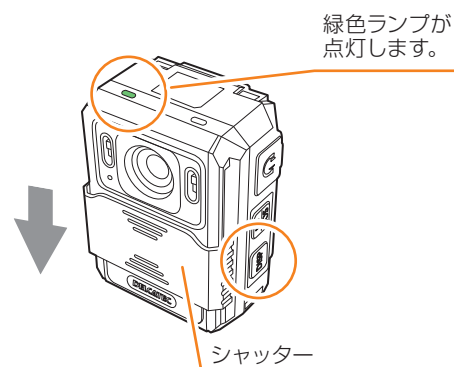
内蔵バッテリーの充電にかかる時間は、約4時間です。

※充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。
周囲の環境やバッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。
高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

電源の入れかた、切りかた

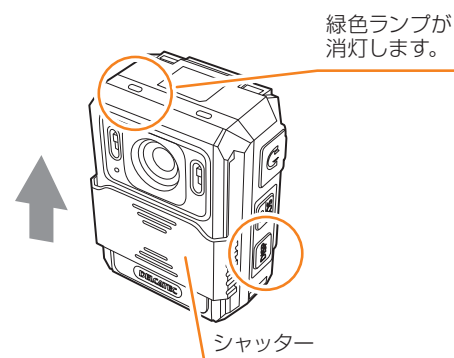
■電源の入れかた

- 1 シャッターを下におろす、または「表示切換ボタン」を長押しすると電源が入ります

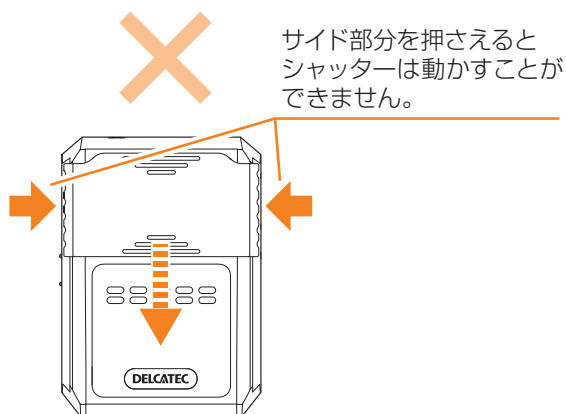
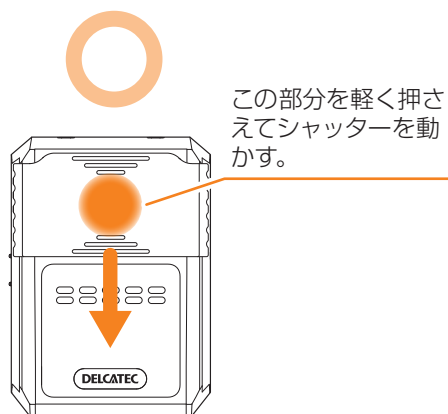


■電源の切りかた

- 2 シャッターを上にあげる、または「表示切換ボタン」を長押しすると電源が切れます

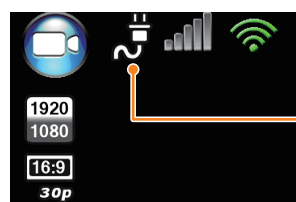
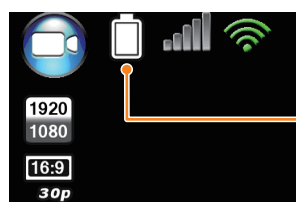


シャッターを上げ下げするときは、シャッターの中心を軽く押さえながら、カチッと音がするまで動かします。



バッテリーの表示

画面上に、バッテリーの状態を表すアイコンが表示されます。



バッテリー充電中

連続使用時間

内蔵バッテリー使用時の連続使用時間は、約8時間です。
周囲の環境や使用条件によって使用時間は変わります。

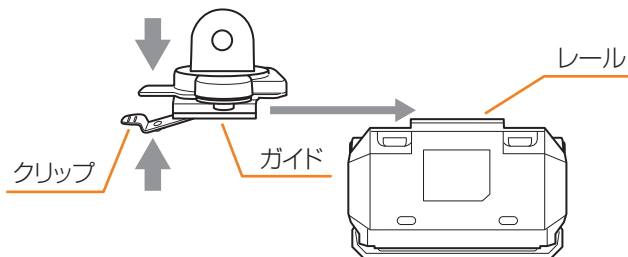
準備

マウントアタッチメントを取付ける

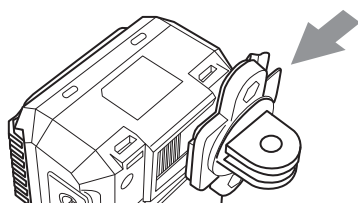
本製品の背面にマウントアタッチメントを取付けると、アクションカメラ用クリップホルダーなどの各種マウント機材（オプション品）などの各種マウント機材（オプション品）を取り付けることができます。

1 クリップを押さえながら、ガイドをレールに沿ってスライドさせる

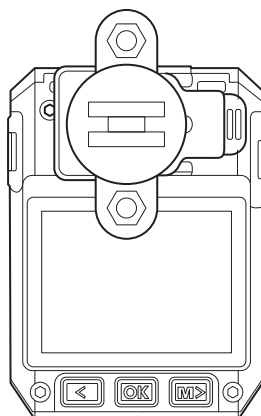
【上面から見た図】



2 カチッと音がする位置までスライドさせる



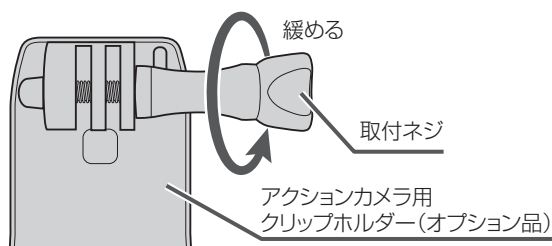
【挿入完了位置】



マウントアタッチメントのみで身体に装着することはできません。身体に取り付けて使用するときには、マウント機材（オプション品）をご使用ください。

■マウント機材（オプション品）を取付ける（例：アクションカメラ用クリップホルダー）

1 マウント機材（オプション品）から取付ネジを外す



本製品に付属のマウントアタッチメントに対応しているオプション品は、弊社Dサポ!をご確認ください。

https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=3017

2 マウント機材（オプション品）とアタッチメントを取り付ける

取付ネジがしっかり締め付けられていることを確認します。



運用・設定

起動と電源 OFF

起動

■シャッターが上がっているとき

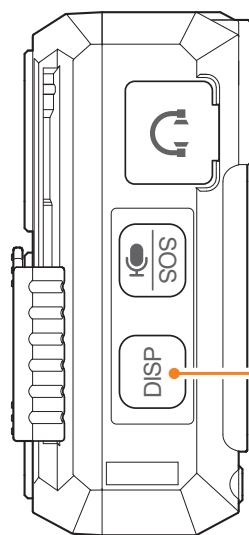
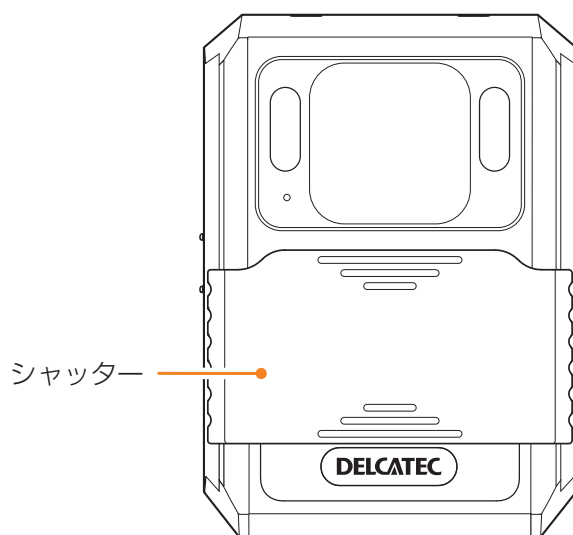
- ・シャッターを下ろすと電源が入り起動します。
- ・（表示切換ボタン）を長押しすると起動し、ファイル選択画面になります。

■シャッターが下がっていて電源 OFF になっているとき

- ・（表示切換ボタン）を押すと起動します。

電源 OFF

- ・シャッターを上げると電源が切れます。
- ・（表示切換ボタン）を長押しすると電源が切れます。



パスワード入力方法

下記のパスワード入力画面が表示されたときは、各文字ごとに **<**（選択ボタン）と **M>**（メニューボタン）でパスワードを入力した後に **OK**（決定ボタン）を押します。



- 1 カーソルが1文字目にあることを確認し、**<**（選択ボタン）と **M>**（メニューボタン）により文字または数字を選択する
 - 本製品の初期パスワードは「000000」です。
（パスワード入力画面で **OK**（決定ボタン）を6回押せば、初期パスワードが入力できます。）
 - 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、初期パスワードから別のパスワードに変更してください。
 - 設定したパスワードは、忘れないように記録してください。
- 2 **OK**（決定ボタン）を押して1文字目が確定すると、カーソルが2文字目に移動する
- 3 同様に、2～6文字目を順次確定する

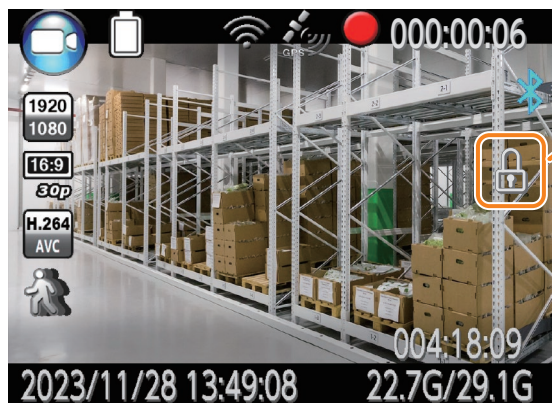
操作禁止の設定方法

録画・録音中の誤操作等を防止するため、ボタン操作禁止を設定できます。

■録画中の画面（ライブ映像画面）または録音中の画面表示中

1 （録画ボタン）を長押しする

- ・操作禁止が設定され、本製品の各ボタンに対応する機能は動作しません。また、シャッターを上げても電源が切れません。（（表示切替ボタン）を除く）
- ・もう一度録画ボタンを長押しすると、操作禁止が解除されます。



操作禁止設定
（設定時及びボタン
操作時に表示）



操作禁止解除
（解除時に表示）

SOS 機能について

本製品のボタン操作により、緊急事態等が発生していることを周囲に知らせることができます。

■ライブ映像画面表示中

1 （録音ボタン）を長押しする

- ・白色 LED が点滅し、警報音が鳴ります（音量が「0」に設定されているときは、警報音は鳴りません。）
- ・もう一度録音ボタンを長押しすると、白色 LED は消灯し、警報音が止まります。

※本機能は、本製品の白色 LED を点滅させ警報音を鳴らすのみであり、緊急事態等に対応するその他の機能はありません。

なお、SOS 機能を使用する場合は、本製品の音量を適切に設定することをお奨めします。

ネットワーク設定手順

どこでもウォッチ設定ツールのインストール及び起動

「どこでもウォッチ設定ツール」を使って、LTE(4G) 通信や無線 LAN 通信に必要なパラメータを設定して、メニュー画面の LTE 設定や Wi-Fi 設定をすると、本製品をネットワークに接続することができます。

※どこでもウォッチ設定ツールをインストールできるパソコンは、次のとおりです。

・ Windows 10/11



.NET Desktop Runtime ダウンロードの表示がされたときは、表示内容に従ってダウンロードしてください。

注意

メニューの LTE がオンになっている場合、本手順を始める前に、40 ページに記載の手順を参考にして、**オフ**に設定してください。

- 1 付属の USB ケーブルで、本製品の USB Type-C ジャックとパソコン (Windows) を接続する
- 2 カメラのモニターにパスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力する
初期パスワードは、「000000」です。
- 3 「CNE3CUL1 Setting Tool」フォルダをパソコンのデスクトップにコピーする
- 4 コピーが完了したら、パソコンから USB ケーブルを抜く
パソコンのタスクバーから  をクリックしてカメラを取り外してください。
- 5 付属の USB ケーブルで、本製品の USB Type-C ジャックとパソコン (Windows) を接続する
- 6 パスワード入力画面が表示されたら **パスワードを入力せず**に、パソコンにコピーした「CNE3CUL1 Setting Tool」フォルダ内の「CNE3CUL1 Setting Tool.exe」をダブルクリックしてどこでもウォッチ設定ツールを起動する

どこでもウォッチ設定ツール (1.0.8867.32873)

WiFi設定

WiFi SSID

WiFi パスワード ☐ パスワードを表示

テザリング用SSID

テザリング用パスワード ☐ パスワードを表示

※SSIDやパスワードが16文字を超える場合正常に表示できません。

LTE設定

APN

PIN

ユーザー名

パスワード ☐ パスワードを表示

※設定したユーザー名、パスワードの最後に違う文字が入りますが制御のため入ってしまうことがありますが異常ではありません。

※設定を有効にするために、カメラのメニューでWiFiやLTEの設定をしてください。

antenna-eye登録QRコード入力する

設定を反映して終了



設定中、確認ダイアログが表示されたときは、「OK」や「続行」などをクリックして、設定を続けてください。

- ※ Windows10/11 で、初めてどこでもウォッチ設定ツールを起動する際、.NET Desktop ランタイムのインストールが必要になる場合があります。
インストールを指示する画面が表示された場合は、指示にしたがって .NET Desktop ランタイムをインストールしてください。
- ※ Windows10/11 で、設定を反映せずにどこでもウォッチ設定ツールを終了するには、タスクバーの「どこでもウォッチ設定ツール」アイコンを右クリックし、「ウィンドウを閉じる」を選択してください。
- ※ 「antenna-eye 登録 QR コードを入力する」ボタンは、本製品をインターネットに接続した後に使用します。
まずは、「LTE (4G) 通信の設定方法」または「無線 LAN 通信 (AP モード) の設定方法」を参照して LTE (4G) 通信によりインターネットに接続するか、「無線 LAN 通信 (ST モード) の設定方法」を参照して無線 LAN ルーター等を経由してインターネットに接続してください。
本製品をインターネットに接続した後に、「antenna-eye 登録 QR コードを入力する」ボタンを用いて設定します。

注意 本製品に含まれるどこでもウォッチ設定ツールのバージョンを予告なく変更する場合があります。
その場合、フォルダ名やファイル名が上記の説明と異なる可能性があります。

LTE（4G）通信の設定方法

本製品は、SIM カードを使用することによって、LTE（4G）通信によりインターネットに接続することができます。

※ネットワーク接続中は、撮影した映像が常にネットワークに送信されます。

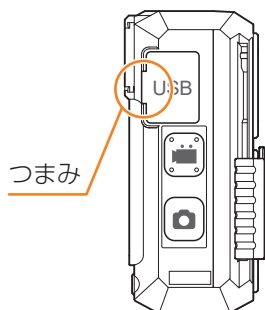
- 注意**
- SIM カードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。
 - SIM カードの取り付け／取り外し時は、本製品を手でしっかり持ってください。

SIM カードの取付方法

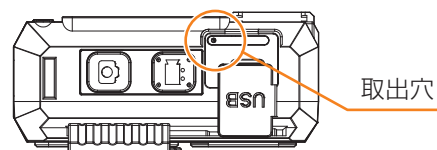
SIM カードを使用して、LTE（4G）通信をするときは、下記の方法で SIM カードを取り付けてから、電源を入れてください。

1 USB カバーを開ける

USB カバーのつまみをつまんで手前に引っぱります。



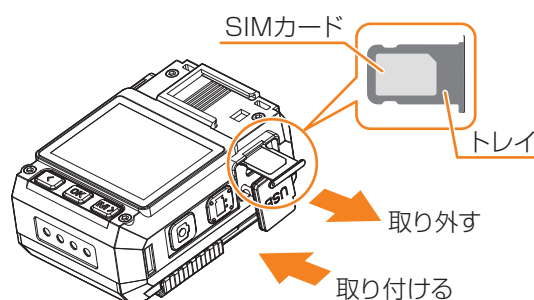
2 トレイの取出穴に金属製の先端の細いピン（SIM ピンなど）を挿し込む



3 本製品からトレイをまっすぐに引き出して取り外す

4 SIM カードの IC 面を下にしてトレイにはめ込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- SIM カードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。



5 トレイを取り外しの逆順で取り付ける

- トレイの向きに注意しながら、本製品を水平にして、トレイごと本製品に挿し込んでまっすぐに押し込みます。
- SIM カードを挿し込むときに SIM カードがトレイから浮き上がらないように注意してください。

6 USB カバーをしっかりと取り付けて、本製品とカバーにすき間がないことを確認する

※ SIM カードの取り外しは、取り付けの逆順で取り外します。

どこでもウォッチ設定ツールによる設定

どこでもウォッチ設定ツール (1.0.8867.32873)

WiFi設定

WiFi SSID

WiFi パスワード ☐ パスワードを表示

テザリング用SSID

テザリング用パスワード ☐ パスワードを表示

※SSIDやパスワードが16文字を超える場合正常に表示できません。

LTE設定

APN

PIN

ユーザー名

パスワード ☐ パスワードを表示

※設定したユーザー名、パスワードの最後に違う文字が入ることがありますが制御のため入ってしまうことが異常ではありません。

※設定を有効にするために、カメラのメニューでWiFiやLTEの設定をしてください。

antenna-eye登録QRコード入力する

1

2

1 LTE 設定の「APN」「ユーザー名」「パスワード」を通信事業者から提供される値に設定する

2 「設定を反映して終了」ボタンをクリックする

 確認ダイアログが表示されたときは、「はい」や「再試行」などをクリックして、設定を続けてください。
※別のウィンドウが起動して、ダイアログが隠れている場合があります。

3 タスクバーで「ハードウェアの安全な取り外し」を探し、表示された一覧から本製品の「取り出し」をクリックする

※パソコンに接続した USB ケーブルを抜くと、本製品はシャットダウンしますが、再度起動したときにどこでもウォッチ設定ツールで入力したパラメータが本製品に反映されます。

本製品の設定

- 1 本製品から USB ケーブルを抜き、再起動する
- 2 メニュー画面で、「LTE」をオンに、「無線 LAN」をオフに設定する

設定後、ライブ映像画面で LTE（4G）のアイコンが下記のように表示されていることを確認してください。



※ antenna-eye を利用する場合、メニュー画面（→ 32 ページ）より、下記のように設定してください。

- ・ライブ解像度：
1280 × 720 30P
- ・ライブビデオコーデック：
H.264

無線 LAN 通信 (AP モード) の設定方法

本製品は、無線 LAN のアクセスポイントモードにより、4G 通信でネットワークに接続されている場合に本製品を無線 LAN アクセスポイント (2.4GHz 帯) として利用してテザリングを行うことができます。

※ネットワーク接続中は、撮影した映像が常にネットワーク LTE(4G) に送信されます。

SIM カードの取付方法

「LTE (4G) 通信の設定方法」と同様に、本製品に SIM カードを取り付けてください。(➡ 21 ページ)

どこでもウォッチ設定ツールによる設定

- 1 WiFi 設定の「テザリング用 SSID」と「テザリング用パスワード」に任意の文字列を設定する
※テザリング用 SSID とテザリング用パスワードに設定できる文字列は、英数字と一部の記号（アンダーバーなど）のみです。
- 2 LTE 設定の「APN」「ユーザー名」「パスワード」を通信事業者から提供される値に設定する
（「PIN」の入力は不要です）
- 3 「設定を反映して終了」ボタンをクリックする

確認ダイアログが表示されたときは、「はい」や「再試行」などをクリックして、設定を続けてください。
※別のウィンドウが起動して、ダイアログが隠れている場合があります。

- 4 タスクバーで「ハードウェアの安全な取り外し」を探し、表示された一覧から本製品の「取り出し」をクリックする

※パソコンに接続した USB ケーブルを抜くと、本製品はシャットダウンしますが、再度起動したときにどこでもウォッチ設定ツールで入力したパラメータが本製品に反映されます。

本製品の設定

- 1 本製品から USB ケーブルを抜き、再起動する
- 2 メニュー画面で「LTE」をオンに、「無線 LAN」を AP に設定する

設定後、ライブ映像画面で LTE(4G) のアイコンと無線 LAN のアイコンが下記のように表示されていることを確認してください。



※ antenna-eye を利用する場合、メニュー画面 (➡ 32 ページ) より、下記のように設定してください。

- ・ライブ解像度：1280 × 720 30P
- ・ライブビデオコーデック：H.264

無線 LAN アクセスポイントとしての利用

前ページの「1」で設定した「テザリング用 SSID」と「テザリング用パスワード」を用いて、他の機器を本製品に無線 LAN 接続できます。

無線 LAN 通信（ST モード）の設定方法

本製品は、無線 LAN のステーションモードにより無線 LAN ルーター等に接続することができます。
※ネットワーク接続中は、撮影した映像が常にネットワークに送信されます。

どこでもウォッチ設定ツールによる設定

1 接続先の無線 LAN ルーター等の値に合わせて、WiFi 設定の「WiFi SSID」と「WiFi パスワード」を設定する

※ WiFi SSID と WiFi パスワードに設定できる文字列は、英数字と一部の記号（アンダーバーなど）のみです。接続先の無線 LAN ルーター等の SSID とパスワードの文字列に、スペースや日本語などが使用されていると、本製品と接続できなかったり、設定が正常に保存されない場合があります。（無線 LAN ルーター等の SSID とパスワードの変更をご検討ください。）

2 「設定を反映して終了」ボタンをクリックする

 確認ダイアログが表示されたときは、「はい」や「再試行」などをクリックして、設定を続けてください。
※別のウィンドウが起動して、ダイアログが隠れている場合があります。

3 タスクバーで「ハードウェアの安全な取り外し」を探し、表示された一覧から本製品の「取り出し」をクリックする

※パソコンに接続した USB ケーブルを抜くと、本製品はシャットダウンしますが、再度起動したときにどこでもウォッチ設定ツールで入力したパラメータが本製品に反映されます。

本製品の設定

- 1 本製品から USB ケーブルを抜き、再起動する
- 2 メニュー画面で、「LTE」をオフに、「無線 LAN」を ST に設定する

設定後、ライブ映像画面で無線 LAN のアイコンが下記のように表示されていることを確認してください。



※ antenna-eye を利用する場合、メニュー画面 (➡ 32 ページ) より、下記のように設定してください。

- ・ライブ解像度：1280 × 720 30P
- ・ライブビデオコーデック：H.264

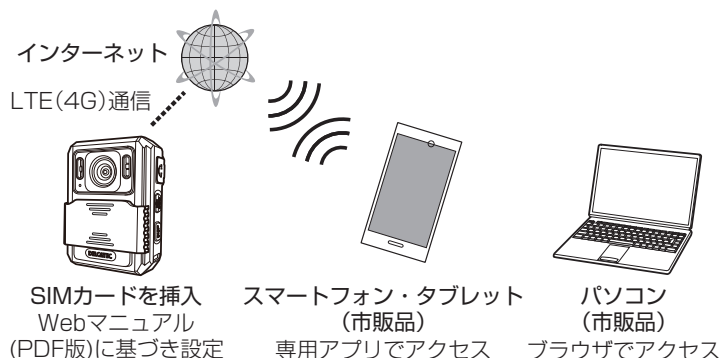
antenna-eye 接続手順

本製品はクラウド録画サービスの専用アプリ「antenna-eye」(<https://antenna-eye.jp/>)に対応しています。

ご使用になるスマートフォンやタブレットにインストールすることで使用できます（Web ブラウザ版は、パソコンを使用します）。

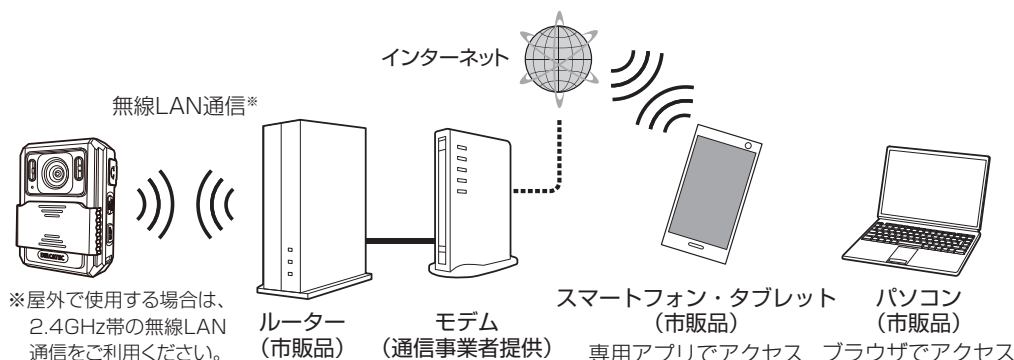
- ・インターネット環境およびネットワーク環境によって、接続機器や接続方法は異なります。
- ・ネットワークに接続（クラウド録画サービス「antenna-eye」への接続含む）した場合、カメラで撮影した映像及び音声は常にネットワークへ送信されます。

●LTE（4G）通信により、クラウド録画サービス「antenna-eye」に接続する



●無線 LAN 通信によりクラウド録画サービス「antenna-eye」に接続する（本製品と無線 LAN ルーターを WiFi 接続する）

無線 LAN ルーターなどの機器の設定方法については、ご使用機器の取扱説明書をご確認ください。



重要

- ・本製品で無線 LAN 機能を使用し、2.4GHz 帯の電波で無線 LAN ルーターに接続する場合、および Bluetooth を使用する場合、他の Wi-Fi 機器と電波干渉することがあります。本製品と Wi-Fi 機器はできるだけ離して使用してください。
- ・本製品で無線 LAN 機能を使用し、5GHz 帯の電波で他の機器と接続する場合、電波法により屋外利用禁止とされている周波数などが意図せずに選択される場合があります。5GHz 帯の電波で他の機器と接続する場合は、屋内でのみご使用ください。

「スマートフォン版 antenna-eye」

スマートフォンやタブレットからアクセスする方法については、URL をご確認ください。

- ・スマートフォン版 antenna-eye かんたんガイド
https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/antenna-eye_install_for_android.pdf

「Web ブラウザ版 antenna-eye」

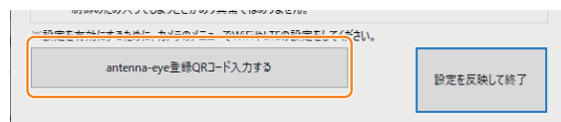
パソコンからアクセスする方法については、下記の URL をご確認ください。

- ・Web ブラウザ版 antenna-eye かんたんガイド
https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/antenna-eye_easy_guide_for_Web_Ver2.0.pdf

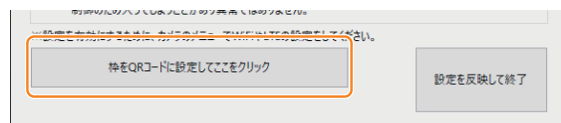
どこでもウォッチ設定ツールを用いた antenna-eye 登録方法

Web ブラウザ版 antenna-eye かんたんガイドのカメラ登録手順で、antenna-eye に表示された QR コードをカメラで読み取る代わりに、どこでもウォッチ設定ツールを使ってどこでもウォッチカメラを登録することができます。

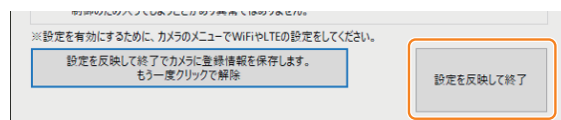
- 1 どこでもウォッチ設定ツールを実行しているパソコン上で、Web ブラウザ版「antenna-eye」を起動し、ログインする
- 2 Web ブラウザ版「antenna-eye」のカメラ登録手順に従って登録する
(Web ブラウザ版 antenna-eye かんたんガイドを参照してください)。
 - ①「カメラを登録する」をクリックします。
 - ②登録するカメラとして「監視カメラ」を選択して「決定」をクリックします。
 - ③「QR コードを表示する」をクリックします。
- 3 画面上に、antenna-eye 登録用の QR コードが表示される
- 4 どこでもウォッチ設定ツールの「WiFi 設定」および「LTE 設定」に必要なパラメータを入力する(入力するパラメータは 21 ～ 27 ページ参照)
- 5 どこでもウォッチ設定ツールの「antenna-eye 登録 QR コードを入力する」をクリックする



- 6 画面に赤い枠が表示されるので、antenna-eye 登録用の QR コードを囲むように移動およびサイズの調整を行い、「枠を QR コードに設定してここをクリック」をクリックする



- 7 赤い枠が青い枠に変わるので、antenna-eye 登録用の QR コードを囲んでいることを確認して、「設定を反映して終了」をクリックする



※ antenna-eye は、終了しないでください。

 確認ダイアログが表示されたときは、「はい」や「再試行」などをクリックして、設定を続けてください。
※別のウインドウが起動して、ダイアログが隠れている場合があります。

8 タスクバーで「ハードウェアの安全な取り外し」を探し、表示された一覧から本製品の「取り出し」をクリックする

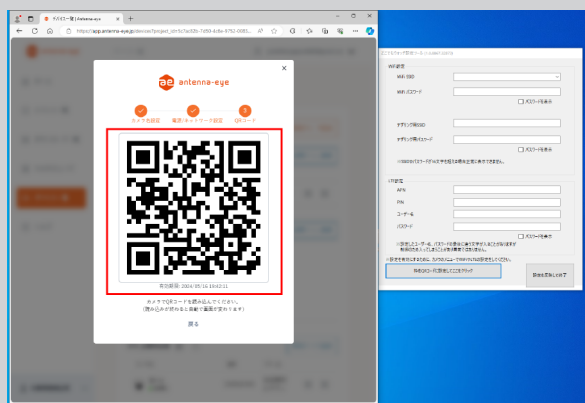
※パソコンに接続した USB ケーブルを抜くと、本製品はシャットダウンします。再起動後、LTE(4G)通信または無線 LAN(ST モード) 通信で接続しておいてください。

※再起動してインターネットに接続したときに本製品の antenna-eye への登録が実行されます。

※カメラが登録されると、本製品の状態ランプが緑点滅→青点滅→緑点灯に変わり、antenna-eye に表示された QR コードが消えて「カメラの登録に成功しました」と表示されます。

重要

- ご使用になるパソコンのディスプレイ拡大縮小表示を 100% に設定してください。
- 「antenna-eye」に表示される QR コードと、どこでもウォッチ設定ツールがデスクトップ上で重ならないように右図のように並べてください。
- ディスプレイの設定方法は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をご確認ください。



画面の主なアイコン・表示

ライブ映像画面の表示

画面を拡大していないときに [<] (選択ボタン) を長押しすると、Bluetooth のオン / オフが設定できます。

ライブ映像表示中

記録データの選択画面
では、下記のアイコン
が表示されます



LTE(4G)
バッテリー

録画時映像

・解像度 (横 / 縦)
・縦横比 / フレームレート

録画時
コーデック

現在日時



推定残り録画時間

残容量 / 記録容量

無線 LAN

(ST モード接続時 : 緑色表示※1)
(ST モード未接続時 : 白色表示)
AP モード : 緑色表示

録画中

位置情報※2

動体検知



録画時間

Bluetooth※3

無音録画

GPS を測位すると、
位置情報 (緯度経度) が
表示されます

※ 1 : ST モードは電波接続状態により変わります。電波接続状態が最良の時は、すべて緑色にかわります。電波接続状態が悪くなるに従い緑色が 1 本づつ減っていきます。

※ 2 : 受信できていないときは右下に「×」マークが表示されます。
上空の見晴らしがよい場所へ移動して、しばらくお待ちください。



※ 3 : 接続が完了すると、アイコンが [Bluetooth symbol] のついた [Bluetooth symbol] の表示になります。



設定

メニュー画面の表示方法

あらかじめ録画や録音を終了し、ライブ表示画面に切り換えておきます。

1 (メニューボタン) を押す

- ・ 設定でパスワードがオフになっている場合、メニュー画面が表示されます。
- ・ 設定でパスワードがオンになっている場合、パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力してください。(17 ページ)
- ・ 本製品の初期パスワードは「000000」です。

2 メニュー画面が表示される



メニュー画面の使い方

- 1 メニュー操作ボタン  (選択ボタン)  (メニューボタン) を使ってメニューを選び、 (決定ボタン) を押すとサブメニューが表示されます。サブメニューも同様に  (選択ボタン)  (メニューボタン) と  (決定ボタン) で選択 / 決定します。



2 ◀ (選択ボタン) [M] (メニューボタン) で項目を選び、[OK] (決定ボタン) で決定する。



メニュー画面からライブ映像画面への戻り方

- [表示切替] (表示切替ボタン) を押すことでライブ映像画面に戻ります。

メニュー

メニューの内容

メニュー項目	内 容	ページ
録画解像度	録画時の解像度を設定します。	35
録画ビデオコーデック	録画時のビデオコーデックを設定します。	35
ライブ解像度	ライブ映像の解像度を設定します。	35
ライブビデオコーデック	ライブ映像のビデオコーデックを設定します。	35
画質	映像ファイルの画質（圧縮率）を設定します。	35
プリ録画	プリ録画のオン／オフを設定します。	35
ポスト録画	ポスト録画時間またはポスト録画のオフを設定します。	36
手ブレ補正	手ブレ補正のオン／オフを設定します。	36
ループ録画	ループ録画のオン／オフを設定します。	36
ファイル分割	映像ファイルの分割時間を設定します。	36
写真の解像度	静止画ファイルの解像度を設定します。	36
連写	写真の連続撮影枚数または連続撮影オフを設定します。	36
セルフタイマー	セルフタイマーの時間またはセルフタイマーオフを設定します。	37
スライドショー	スライドショーのオン／オフを設定します。	37
夜間モード切替	夜間モード切替の自動／手動を設定します。	37
モーション検知	モーション検知のオン／オフを設定します。	37
録画通知	録画通知のオン／オフを設定します。	37
無音録画	無音録画のオン／オフを設定します。	37
位置情報	位置情報のオン／オフを設定します。	38
加速度センサー	加速度センサーの感度または加速度センサーオフを設定します。	38
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。	38
言語	本製品で使用する言語を設定します。	38
オートスクリーンオフ	画面の表示停止までの時間または画面自動表示停止のオフを設定します。	38
画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	38
オートパワーオフ	電源を切るまでの時間または自動電源停止のオフを設定します。	39
ステータスライト	状態ランプのオン／オフを設定します。	39
ライト	白色 LED のオン／オフを設定します。	39
ボタン操作音	ボタン操作音のオン／オフを設定します。	39
バイブレーション	バイブレーションのオン／オフを設定します。	39
音量	音量を設定します。	39
露出	映像及び写真の露出（色の明度）を設定します。	39
彩度	映像及び写真の彩度（色の鮮やかさ）を設定します。	39
LTE	4G(LTE) 通信のオン／オフを設定します。	40
無線 LAN	無線 LAN のモードまたは無線 LAN のオフを設定します。	40
Bluetooth	Bluetooth のオン／オフを設定します。	40
0000/00/00 00:00	年月日、時刻を設定します。	40
パスワード	パスワードのオン／オフを設定します。	41
パスワード変更	パスワードを変更します。	41
設定の初期化	本製品を初期化して、出荷時の設定に戻します。	41
X00-V0.00-00000000	現在のファームウェアが表示されます。 (メニューとして表示された文字列が、ファームウェアバージョンです。)	41
機器情報	バッテリー残量、充放電回数、ライセンス情報などが表示されます。	41
WIFI&LTE 情報	本製品のネットワーク接続情報が表示されます。	41

メニューの設定 (太字は初期設定値です)

録画解像度

映像ファイルの解像度を設定します。

設定：初期設定は、[1920 × 1080 30P] です。

※ HDR 表示がある項目は、ハイダイナミックレンジを採用しています。

※ LTE(4G)通信をオンにしている場合および無線 LAN を ST または AP に設定している場合、[2688 × 1512 30P] [2560 × 1440 30P] [2304 × 1296 30P] を選択することができません。

※ HDR の解像度を選択すると、ライブ映像およびネットワークへ送信する映像の解像度も HDR に設定されます。

録画ビデオコーデック

内蔵メモリに録画するときの映像ファイルのビデオコーデックを設定します。

設定：[**H.264**] [H.265]

ライブ解像度

ライブ映像およびネットワークへ送信する映像の解像度を設定します。

設定：[1280 × 720 30P] [1280 × 720 15P] [**848 × 480 30P**] [848 × 480 15P]

※ライブ映像およびネットワークへ送信する映像の解像度を HDR に設定するには、録画解像度で HDR 付の解像度を選択してください。

※ネットワークへ送信する映像の解像度は、720 30P になります。

ライブビデオコーデック

ライブ映像のビデオコーデックを設定します。

設定：[**H.264**] [H.265]

※ antenna-eye 利用時は「H.264」から変更しないでください。

画質

映像ファイルの画質（圧縮率）を設定します。

画質を高くすると圧縮率が低くなり、内蔵メモリに録画できる時間が短くなります。

設定：[高 (S.Fine)] [中 (Fine)] [**低 (Normal)**]

プリ録画

録画ボタンを押す前の映像を含めて録画するプリ録画を設定します。

プリ録画で録画ボタンを押す前に録画される時間は 30 秒です。

設定：[**オフ**] [オン]

ポスト録画

録画ボタンを押すなどにより録画終了を指示した後の映像を含めて録画するポスト録画を設定します。
設定：[オフ] [5 秒] [1 分] [10 分] [20 分] [35 分]



※中央の数字は、ポスト録画の残り時間を示します。

手ブレ補正

手ブレ補正の設定をします。
設定：[オフ] [オン]

ループ録画

ループ録画（上書き録画）の設定をします。
ループ録画をオンにした場合、内蔵メモリがいっぱいになっても、古い映像ファイルを削除して録画を継続します。
設定：[オフ] [オン]

ファイル分割

1 つの映像ファイルに記録する最大時間を設定します。
設定された時間を超えて録画する場合、映像ファイルが複数に分割されます。
設定：[1 分] [3 分] [5 分] [10 分] [**15 分**] [30 分] [45 分]

写真の解像度

写真（静止画ファイル）の解像度を設定します。
設定：[**5M (3008 × 1692)**] [12M (4608 × 2592)] [20M (5984 × 3366)]
[25M (6656 × 3744)] [30M (7296 × 4104)] [40M (8448 × 4752)]
※ LTE(4G) 通信または無線 LAN 通信時には、静止画ファイルの解像度は設定した解像度よりも低くなります。

連写

写真の連続撮影枚数を設定します。
連写枚数を設定した場合、写真ボタンを押すと連続した写真が撮影されます。
※連続撮影した場合、静止画ファイルの解像度は「写真の解像度」で設定した解像度よりも低くなります。
設定：[オフ] [2] [3] [5] [7] [10] [15] [20]

セルフタイマー

写真撮影時のセルフタイマーを設定します。

時間を設定した場合、写真ボタンを押して指定時間経過した後に写真が撮影されます。

設定：[オフ] [5 秒] [10 秒] [20 秒] [30 秒] [1 分]



※中央の数字は、撮影までの残り時間を示します。

スライドショー

写真のスライドショー表示の設定をします。

スライドショーをオンにして写真（静止画ファイル）を表示すると、7 秒ごとに次の写真が表示されます。

設定：[オフ] [オン]

夜間モード切替

夜間モード切替の設定をします。

夜間モードでは、赤外線 LED を使用して映像や写真を撮影します。

夜間モード切替を自動に設定した場合、周囲の明るさを感知して夜間モードに自動的に切り換わります。

夜間モード切替を手動に設定した場合、写真ボタンを長押しすることにより夜間モードに切り換えることができます。

設定：[手動] [自動]

モーション検知

モーション検知録画の設定をします。

モーション検知をオンにして、ライブ映像画面で録画ボタンを押すと、モーション検知録画が有効になります。動きがなくなった 10 秒後に録画を停止します。

設定：[オフ] [オン]

※「antenna-eye」接続時は、自動的に「オン」に設定されます。

※  が点滅しているときは、モーション検知録画が待機状態です。

※オンに設定したときは、録画ボタンを押さないと、モーション検知録画は動作しません。

録画通知

録画時音声通知の設定をします。

録画通知をオンにすると、録画開始時や録画終了時に音声で知らせてくれます。

設定：[オフ] [オン]

無音録画

無音録画の設定をします。

無音録画をオンにすると、内蔵メモリに保存される映像ファイルに音声記録されません。

設定：[オフ] [オン]

位置情報

位置情報の設定をします。

位置情報をオンにすると、内蔵メモリに保存される映像ファイルおよび静止画ファイルに、GPS で取得した位置情報が記録されます。

設定：[オフ] [オン]

■ GPS 機能の利用

- GPS とは、GPS 衛星からの電波を受信して位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用 GPS としての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、本製品の故障や誤動作、電池切れによって測位結果の確認などの機会を逸したりしたために生じた損害などにつきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPS は米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合により GPS の電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPS は人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい場合がありますのでご注意ください。
 - a. 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - b. 建物の中や直下
 - c. 地下やトンネル、地中、水中
 - d. 高圧線の近く
 - e. 自動車や電車などの室内

加速度センサー

加速度センサーの設定をします。

加速度センサーの感度を設定すると、本製品に加速度が加わった時に録画を開始します。

設定：[オフ] [感度：高] [感度：中] [感度：低]

タイムゾーン

本製品を使用する地域のタイムゾーンを設定します。

設定：[UTC-12] ~ [UTC +12]

※初期設定値は [(UTC+9)東京]

言語

画面に表示する言語を設定します。

設定：[English] [日本語]

オートスクリーンオフ

オートスクリーンオフの設定をします。

表示停止までの時間を設定すると、本製品のボタン操作をせずに設定した時間が経過した時、ライブ映像画面やメニュー画面の表示が消えます。（いずれかのボタン操作により、再度画面を表示します。）

設定：[オフ] [30 秒] [1 分] [3 分] [5 分]

画面の明るさ

画面の明るさの設定をします。

設定：[低] [中] [高]

オートパワーオフ

オートパワーオフの設定をします。

オートパワーオフの時間を設定すると、本製品のボタン操作をせずに設定した時間が経過した時、本製品はシャットダウンします（ネットワークに接続している場合や、録画 / 録音中及び再生中等を除く）。

設定：[オフ] [30 秒] [1 分] [3 分] [5 分]

ステータスライト

状態ランプの設定をします。

状態ランプをオフに設定すると、状態ランプは点灯 / 点滅をしません。

設定：[オフ] [オン]

ライト

白色 LED の点灯設定をします。

白色 LED の点灯設定をオンにしていれば、決定ボタンの長押しで白色 LED を点灯 / 消灯することができます。

設定：[オフ] [オン]

ボタン操作音

ボタン操作音の設定をします。

設定：[オフ] [オン]

バイブレーション

バイブレーションの設定をします。

バイブレーションをオンに設定すると、起動時 / シャットダウン時や録画・録音の開始時 / 終了時に振動で通知します。

設定：[オフ] [オン]

音量

音量の設定をします。

設定：0 ~ 12

※初期設定値は **12**

※映像ファイルおよび音声ファイルを再生したとき、および antenna-eye と通話したときの音量は変更できません。

注意 0 に設定して SOS 機能を動作させると、白色 LED のみが点灯し、警報音は鳴りません。

露出

映像及び写真の露出（色の明度）を設定します。

設定：-10 ~ 10

※初期設定値は **0**

彩度

映像及び写真の彩度（色の鮮やかさ）を設定します。

設定：-10 ~ 10

※初期設定値は **0**

LTE

LTE（4G）通信の設定をします。

LTE（4G）通信を利用するには、ネットワーク設定等が別途必要です。（➡ 19 ページ）

設定：[オフ] [オン]

無線 LAN

無線 LAN 通信の設定をします。

無線 LAN 通信を利用するには、ネットワーク設定等が別途必要です。（➡ 24 ～ 27 ページ）

設定：[オフ] [ST] [AP]

※本製品を無線 LAN ルーター等に接続する場合は、ST に設定してください。

※本製品を無線 LAN アクセスポイントとして利用してテザリングを行う場合は、AP モードに設定するとともに、LTE をオンに設定してください。

Bluetooth

Bluetooth の設定をします。

Bluetooth をオンに設定すると、HFP（Hands-Free Profile）または HSP（Headset Profile）を用いて、本製品を Bluetooth 対応のヘッドセットなどに接続することができます。

接続が完了すると、アイコンが  のついた  の表示になります。

本製品に登録できるヘッドセットについては、弊社 D サポ！をご確認ください。

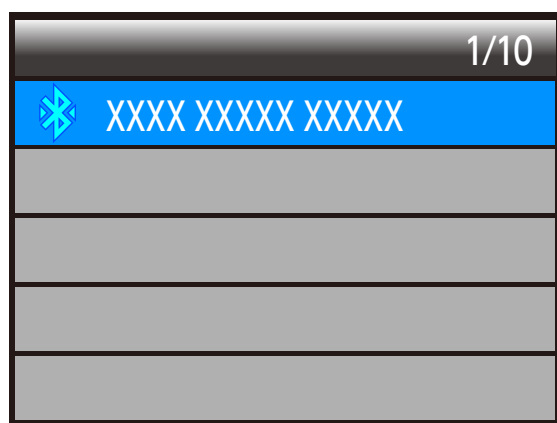
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=3017

設定：[オフ] [オン]

※ライブ映像画面では、（選択ボタン）の長押しでも Bluetooth の設定ができます。

本製品に Bluetooth 対応のヘッドセットなどを登録するときは、下記の手順で行います。

1. 本製品の Bluetooth の設定を「オン」にする。
2. 登録できる機器の名称が一覧表で表示されます。
3. 本製品に登録するヘッドセット側を Bluetooth のペアリングモードにします。
（使用するヘッドセットの取扱説明書をご確認ください）
4. 手順 2 の一覧表から登録できるヘッドセットを選択し （決定ボタン）を押します。
5. 登録が完了すると下記のように表示されます。



0000/00/00 00:00

年月日、時刻の設定をします。

年・月・日・時・分のそれぞれについて、（選択ボタン）と （メニューボタン）により値を選択した後に （決定ボタン）により値を決定します。

パスワード

パスワードの設定をします。

設定：[オフ] [オン]

※どこでもウォッチ設定ツールを使用する場合（➡ 19 ページ）は、パスワードをオンに設定してください。

パスワード変更

パスワードの変更をします。

古いパスワード、新しいパスワード、新しいパスワード（確認用）を入力して、パスワードを変更します。

設定の初期化

本製品を初期化して、出荷時の設定に戻します。

「設定を初期化しますか？」が表示されたら、○を選択します。

X00-V0.00-00000000

現在のファームウェアが表示されます。

（メニューとして表示された文字列が、ファームウェアバージョンです。）

機器情報

本製品のシリアル番号、バッテリー残り最大容量、充放電回数、ライセンス情報などが表示されます。

※充放電回数が 500 回に達すると、新たな充電ができなくなります。

バッテリーの交換時期が近づいたことの通知が表示されたら、弊社カスタマーセンターへご相談ください。

お客様自身で本製品を分解して内蔵充電池を取り外さないでください。

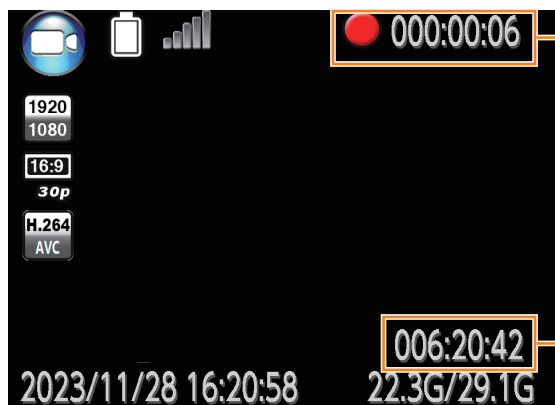
WIFI&LTE 情報

本製品のネットワークや通信に関する情報が表示されます。

録画・写真の撮影・録音

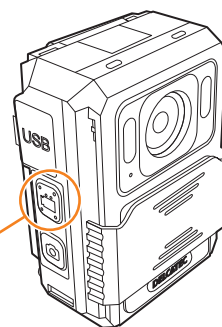
録画

- 1 ライブ映像画面で  (録画ボタン) を押すと録画を開始します
(モーション検知をオフにしてください。)



録画時間

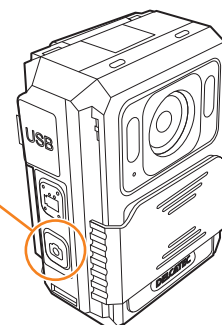
推定残り録画時間

録画を開始/
終了します。

- 2 もう一度押すと、録画を終了します

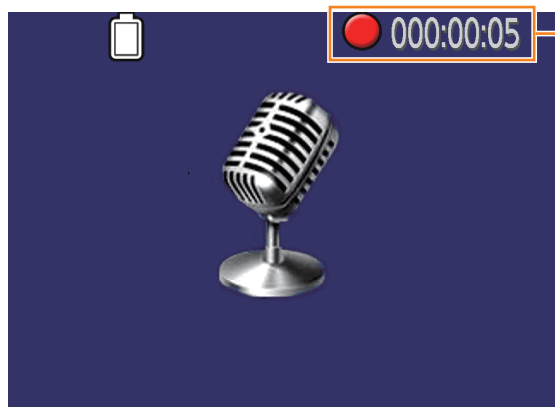
写真撮影

- 1 ライブ映像画面で  (写真ボタン) を押すと写真を撮影します

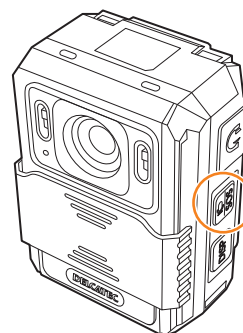
写真を
撮影します。

録音

- 1 ライブ映像画面で  (録音ボタン) を押すと録音を開始します



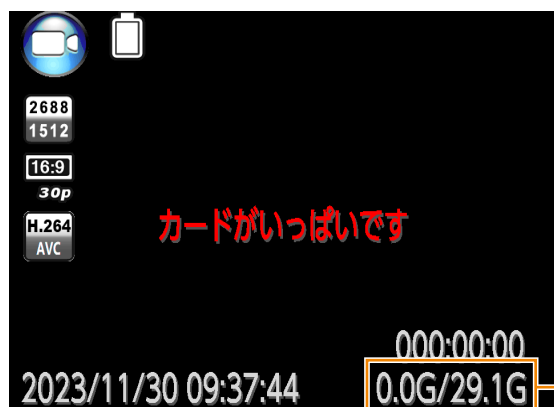
録音時間

録音を開始/
終了します。

- 2 もう一度押すと、録音を終了します

メモリ容量警告

メモリ残量が無くなるとメッセージが表示されます。



残量 / 容量

はじめに

準備

運用・設定

その他

記録されたデータの再生

ファイル選択画面の表示方法

■ シャッターが閉じた状態で電源が切れているときに  (表示切換ボタン) を長押しします。
または

■ ライブ映像画面を表示させ  (決定ボタン) を押します。

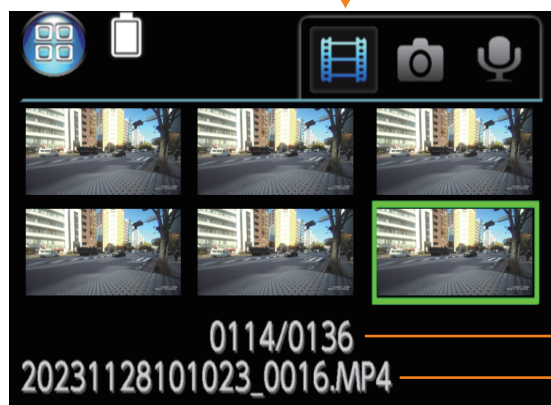
ライブ映像画面を表示させるには

- ・ シャッターが閉じていて電源が切れているとき → シャッターを下げて起動させます。
- ・ シャッターが下がっていて電源が切れているとき →  (表示切換ボタン) を一回押し、起動させます。
- ・ メニュー画面になっているとき →  (表示切換ボタン) を押します。

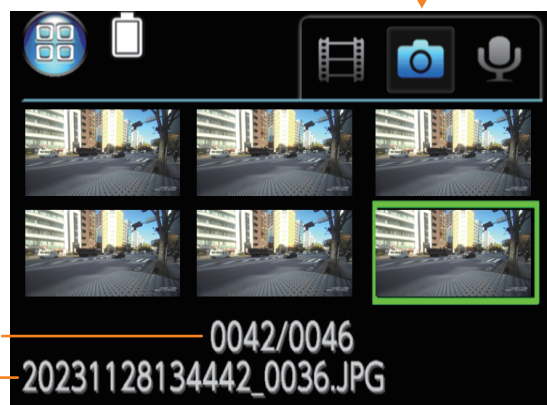
ファイルの選択

1 ファイル選択画面で  (録画ボタン) を押し、ファイルリストの種類 (映像 / 静止画 / 音声) を選択します。( (録画ボタン) を押すたびに、表示されるファイルの種類が変わります。)

映像ファイルリスト選択中



静止画ファイルリスト選択中



音声ファイルリスト選択中



2 ファイルを選択し、 (決定ボタン) で再生するファイルを決定します

映像ファイルの再生

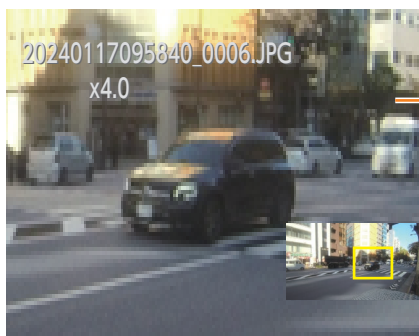
ファイルを選択すると映像が再生されます。



- 再生中に **OK** (決定ボタン) を押すと、一時停止します。一時停止中に決定ボタンを押すと、再生が再開します。
- 再生中に **OK** (決定ボタン) を押して、一時停止から **<** (選択ボタン) を押すと、逆方向再生されます。逆方向再生中に **M>** (メニューボタン) を押すと、通常の再生 (順方向の再生) に戻ります。
- 再生中 (順方向の再生中) に **M>** (メニューボタン) を押すと、早送りで再生されます。**M>** (メニューボタン) を押すたびに、再生速度が早くなります (最高 128 倍)。**OK** (決定ボタン) を押すと、早送りを解除します)
- 逆方向再生中に **<** (選択ボタン) を押すと、早戻しで再生されます。**<** (選択ボタン) を押すたびに、早戻し速度が早くなります (最高 128 倍)。**OK** (決定ボタン) を押すと、早戻しを解除します)
- 再生中に **M>** (メニューボタン) を長押しすると、画面を拡大 (ズームイン) できます (最高 10.0 倍)。拡大した画面で **<** (選択ボタン) を長押しすると、画面を縮小 (ズームアウト) できます。
- 再生が終了すると、ファイル選択画面 (映像リスト) に戻ります。
(再生中に **表示切替ボタン** を押しても、ファイル選択 (映像リスト) に戻ります)

静止画ファイルの表示

- ファイルを選択すると静止画が表示されます。
- 表示中に **M>** (メニューボタン) を長押しすると、画面を拡大 (ズームイン) できます (最高 10.0 倍)。拡大した画面で **<** (選択ボタン) を長押しすると、画面を縮小 (ズームアウト) できます。
- 画面を拡大 (ズームイン) すると、画面右下に静止画のどの部分を拡大したかを示す領域 (ズームエリア) が黄色の枠で表示されます。ズームエリアは、**M>** (メニューボタン) を押すと右方向へ、**<** (選択ボタン) を押すと左方向へ、**録画ボタン** を押すと上方向へ、**写真ボタン** を押すと下方向へ、それぞれ移動することができます。
- 画面を拡大 (ズームイン) 状態から、**OK** (決定ボタン) を押すと通常表示に戻ります。



静止画拡大表示時の画面例

- 表示切替ボタン** を押すとファイル選択画面 (静止画リスト) に戻ります。

音声ファイルの再生

- ファイルを選択すると音声再生されます。



- 再生中に **OK**（決定ボタン）を押すと、一時停止します。一時停止中に **OK**（決定ボタン）を押すと、再生が再開します。
- 再生が終了すると、ファイル選択画面（音声リスト）に戻ります。

ファイルの削除

※本製品の操作でファイル（映像ファイル、静止画ファイル、音声ファイル）を消去することはできません。パソコンと接続して、パソコン側の操作により消去してください。（➡ 47 ページ）

内蔵メモリのファイル消去方法

本製品の操作で内蔵メモリに記録されたファイル（映像ファイル、静止画ファイル、音声ファイル）を消去することはできません。パソコンと接続して、パソコン側の操作により消去してください。

1 付属の USB ケーブルで、本製品の USB Type-C ジャックとパソコン (Windows) を接続する
※使用できるパソコンは、次のとおりです。

・ Windows 10/11

メニューの LTE がオンになっている場合、本手順を始める前に、40 ページに記載の手順によりオフにしてください。

2 パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力する（⇒ 17 ページ）

・ 本製品の初期パスワードは「000000」です。

※パスワードは、各文字ごとに **<**（選択ボタン）と **M>**（メニューボタン）により値を選択した後
に **OK**（決定ボタン）により値を決定します。

3 本製品がパソコンの USB ドライブとして認識されたら、その中にあるフォルダ「DCIM」を開く

名前	更新日時	種類	サイズ
cloudRec	2024/05/24 16:07	ファイル フォルダ	
CNE3CUL1 Setting Tool	2024/05/24 16:11	ファイル フォルダ	
DCIM	2024/05/24 16:07	ファイル フォルダ	
LOG	2024/05/24 16:07	ファイル フォルダ	
MISC	2024/05/24 16:11	ファイル フォルダ	
ID.txt	2024/05/28 9:49	テキスト ドキュメント	1 KB

4 フォルダ「DCIM」の中には日付ごとのフォルダが存在するので、日付ごとのフォルダ内のファイル（映像ファイル、静止画ファイル、音声ファイル）のうち、不要なファイルを削除またはパソコンへ移動する（日付ごとのフォルダも削除してかまいません。）

- 注意**
- ・ フォルダ「DCIM」以外には変更を加えないでください。
 - ・ フォルダ「DCIM」は削除しないでください。

専用アプリ antenna-eye との通話機能

本製品は、antenna-eye（Web ブラウザ版）と音声通話（相互通話）することができます。

※「antenna-eye」でマイクをオンにすると、「antenna-eye」側からの音声は、どこでもウォッチ本体から聞こえますが、どこでもウォッチ本体の音声は「antenna-eye」側では同時に聞くことができません。

どこでもウォッチ側の音声を聞く場合は、「antenna-eye」側のマイクをオフにしてください。

※スマートフォンアプリで音声通話することはできません。

■本製品の動作

• 音声入力

本製品のマイクに向かって話しかけてください。

なお、ヘッドセット等を Bluetooth 接続している場合またはイヤホンジャックに有線接続している場合は、ヘッドセット等の話しかけた音声とマイクで集音した音声が入力されます。

• 音声出力

本製品のスピーカーから相手の声が聞こえます。

なお、ヘッドセット等を Bluetooth 接続している場合またはイヤホンジャックに有線接続している場合は、ヘッドセット等から相手の声が聞こえます。

• 発信 / 着信

発信および着信の機能はありません。

ネットワークに接続している場合、映像と音声を常にネットワークに送信し、相手から音声を送られてきた場合は出力します。

■専用アプリ antenna-eye（Web アプリ）の動作

• 音声入力

ライブ映像視聴時に専用アプリのマイクアイコンをオンにすると、話しかけることができます。

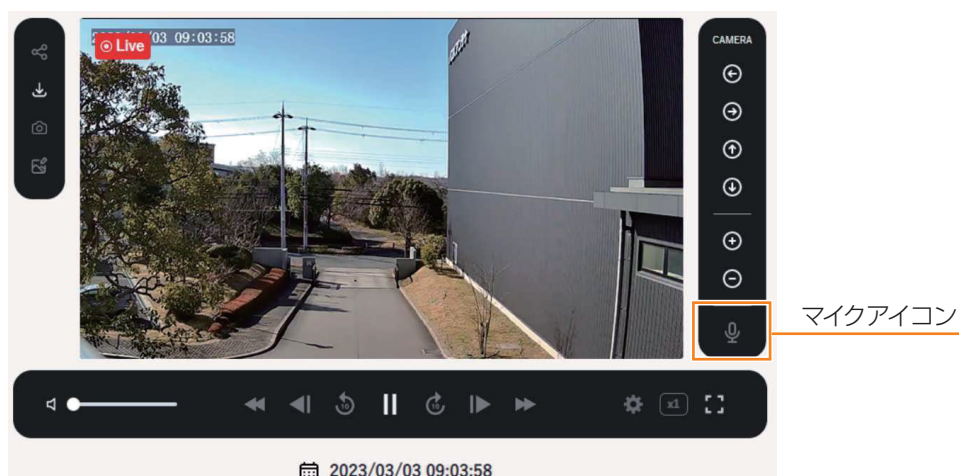
• 音声出力

ライブ映像の音声として、相手の声が聞こえます。

• 発信 / 着信

発信および着信の機能はありません。

（なお、マイクアイコンをオフにすると、音声は相手に送られません。）



その他

故障と判断する前に

故障と判断する前に、次の点を確認してください。

重要

- 本製品が動作中にボタン操作が不能となった場合、（表示切換ボタン）を 15 秒以上押して、本製品を再起動してください。

症状	確認内容	ページ
電源が入らない。	・充電はできていますか。	12
	・シャッターを一番下までおろしきっていますか。	16
シャッターをあげても、電源が切れない。	・シャッターを一番上まであげきっていますか。	16
充電台で充電できない。	・USB ケーブルが断線していませんか。	-
	・USB ケーブルを AC アダプターと充電台にしっかり差しこんでいますか。	12
	・本製品を充電台にしっかりと差しこんでいますか。	12
	・充電台の端子部分や本製品の充電コネクタ部分が汚れていませんか。	11、12
満充電までにかかる時間が長すぎる。	・周囲の温度が 0℃～+35℃の環境で充電していますか。 （これ以外の環境で充電すると、充電できなったり、充電に時間がかかったり、漏液、発熱、発火、破裂させる原因となります。）	-
内蔵バッテリー使用時の使用時間が以前より大幅に低下している。	・内蔵バッテリーの性能が低下していませんか。	41
画面が表示されない。	・電源は入っていますか。	16
	・  （表示切換ボタン）を押しても画面は表示されませんか。	10
画面表示が勝手に消える。	・オートスクリーンオフを設定していませんか。	38
	・オートパワーオフを設定していませんか。	39
	・バッテリーの充電が切れていませんか。	12
スピーカーから音が聞こえない。	・音量が 0 になっていませんか。	39
	・無音録画をオンにして録画した映像を再生していませんか。	37
	・有線イヤホン端子を使用していませんか。	40
	・Bluetooth でヘッドセットなどに接続していませんか。	
スピーカーから物音が聞こえる。	・antenna-eye に接続した相手からの声や物音ではないですか。	48
ライブ映像画面に何か映っているが、真っ暗なままである。	・シャッターを上にあげたままライブ映像画面を表示していませんか。	-
録画 / 録音 / 撮影できない。	・内蔵メモリがいっぱいになっていませんか。	43
	・操作禁止が設定されていませんか。	18
再生できない。	・動画 / 音声 / 静止画ファイルは保存されていますか。	44
	・録画 / 録音時間が短すぎて、再生がすぐに終わっていませんか。	-
設定した解像度と異なる解像度で写真が撮影される。	・LTE（4G）通信または無線 LAN 通信を設定していませんか。 ・連写で撮影していませんか。	36

症状	確認内容	ページ
昼間でも映像が白黒になる。	・ 夜間モード切替が手動になっていませんか。	37
	・ 夜間モード切替を自動にしている場合は、カメラに搭載された照度センサーで周囲の明るさを検知し、自動的に夜間モード（白黒映像）に切り換えています。設置場所やカメラの向きを変えるなど、周辺環境が明るくなるようにしてください。	-
周囲が暗いにもかかわらず夜間モードにならない。	・ 夜間モード切替が手動になっていませんか。	37
夜間モード切替を自動にしているにもかかわらず、夜間撮影時に映像が何も映らない、または真っ暗な状態のままになる。	・ 夜間、外灯などの光が入っていませんか。光が入る場所にカメラを設置すると、照度センサーが働かず、夜間モードに切り換わらない場合があります。	-
夜間モードでの撮影時に、雪が降ったような映像になる。	・ 空気中のほこりやチリなどが赤外線 LED の光を反射するため故障ではありません。	-
位置情報をオンにしているのに、位置情報が正しく記録されない。	・ GPS 衛星の信号を受信できない場所で使用していませんか。なお、GPS 衛星の信号が受信できるまで数分かかることがあります。	-
メニューで設定しても、年月日や時刻が変わらない。	・ 値を選択した後、決定ボタンを押していますか。	40
LTE（4G）通信がつかない。	・ SIM カードは正しく挿入されていますか。	21
	・ 弊社で動作確認していない通信事業者の SIM カードを使用していませんか。	5
	・ 通信事業者から提供された APN 設定情報（APN、ユーザー名、パスワード）を正しく設定していますか。	22、24
	・ メニューで「LTE」をオフに設定していませんか。	40
	・ 通信事業者のサービスエリア外で本製品を使用していませんか。	-
無線 LAN 接続ができない。または、受信状況が頻繁に悪くなる。	・ メニューで「無線 LAN」をオフに設定していませんか。	40
	・ 次のような設置環境の場合、受信状況が悪くなるおそれがあります。 近隣に電波塔や工場等がある 本製品のそばで電波干渉を及ぼす機器（ルーターなど）を使用している	4
	・ 扉を開けている状態で設置後、扉を閉めていませんか。	-
	・ カメラや液晶モニターの周囲に遮へい物や反射物などありませんか。	-
無線 LAN のアクセスポイントモードでしようとしているが、本製品に無線 LAN 接続できない。	・ 2.4GHz 帯以外の周波数で接続しようとしていませんか。	24
ステーションモードで無線 LAN ルーターに接続する時、無線 LAN ルーターの名称（SSID）をどこでもウォッチ設定ツールの SSID に入力できない。	・ 無線 LAN ルーターの名称（SSID）に、日本語やスペースなど、どこでもウォッチ設定ツールに入力できない文字が含まれていませんか。	26

症状	確認内容	ページ
無線 LAN をオフからステーションモードに変更して使用しようとしているが、以前設定していた無線 LAN ルーターに接続できない。	- 無線 LAN ルーターの名称 (SSID) に、日本語やスペースなど、どこでもウォッチ設定ツールに入力できない文字が含まれていませんか。 - これらの文字列が含まれていると、設定が正常に保存されない場合があります。	-
どこでもウォッチ設定ツールで入力した設定が、正常に反映されない。	「設定を反映して終了」ボタンをクリックした後、タスクバーで「ハードウェアの安全な取り出し」を探し、表示された一覧から本製品の「取り出し」をクリックしていますか。	-
antenna-eye に本製品を登録する際に、専用アプリに表示された QR コードをうまく読み込まない。	専用アプリに表示されてから 1 時間以上経過した QR コードを使っていませんか。	https://antenna-eye.jp/help/ を参照
	本製品が起動した後に時間がたってから QR コードを読み取っていませんか。	-
	本製品のカメラのレンズと QR コードとの間に適切な距離をとっていますか。 (15 ~ 20cm 程度離すことを推奨していますが、表示された QR コードの大きさによっては距離が異なる場合があります。)	-
	専用アプリの QR 表示画面に、外部の光や人の影がかかっていませんか	-
	本製品をインターネットに接続していますか。	-
	本製品がすでに antenna-eye に登録されていませんか。	-
どこでもウォッチ設定ツールを用いた antenna-eye 登録を行おうとしたが、正常に登録されない。	- ご使用になるパソコンのディスプレイ拡大縮小表示を 100% に設定していますか。 - 本製品をインターネットに接続していますか。 - 本製品がすでに antenna-eye に登録されていませんか。	-
モーション検知録画中に突然、本製品が再起動する。	antenna-eye 未登録 パスワードを変更してカメラを再起動して下さい。	41
	antenna-eye 登録済 antenna-eye 上にてご使用のカメラのライブ映像が再生されている状態でモーション検知を開始してください。	37